

学校法人静岡日本語教育センター創立20周年  
記念講演会

## 「地域を育てる日本語教育を考えよう」

### －20年の社会変化を吸収した日本語教室へ－

第一部：講演会「地域を育てる日本語教育を考えよう」

第二部：学校紹介スライドショー

第三部：質疑応答・意見交換

2010年12月11日（土）に無事終了いたしました。晴天にも恵まれ、約100名の皆様にご来場いただきました。年末のお忙しい中、皆さま本当にありがとうございました。

本講演会は「人と人とのつながり」が大きなテーマ（目的）の一つです。私たち日本語教師が目の前にある授業の一つひとつ一生懸命に取り組むことはもちろん大切なことではありますが、それと同じように大切なのは、自分たちが日々実践している日本語教育がおかれている環境や社会情勢の変化を知ることです。

「日本語教室」は社会の一部であり、切り離されたものではありません。社会環境の変化（過去、現在、未来）が教室や教室活動にも変化を求めているのではないのでしょうか。

講演会には講師：桜美林大学言語研究所長の佐々木倫子先生をお迎えし、日本語教育を取り巻く社会情勢の変化、その変化を吸収したより良い日本語教育とは何かをテーマにお話いただきました。

講演会では参加者同士がグループになり、ともに考える活動も行われました。佐々木先生からは具体的な教室活動も紹介され、参加者同士の交流、また講師との活発な意見交換が行われました。

意識を少し変化させるだけで、行動が変わります。現在行っている教育活動を見直すところからスタートし、学習者自身が「どうなりたいか（自己実現）、

そのために「どう学ぶのか」を考えられる（デザインできる）ような、そして、それを具体的な「学び」に導くことができるような教師であり「ファシリテーター」でありたいと感じました。

講演会終了後は懇親会を開催しました。講師の佐々木先生を囲んで楽しく和やかな時間を皆様とともに過ごすことができました。

この講演会には、財団法人静岡県国際交流協会、静岡市国際交流協会、静岡県ボランティア協会より後援をいただきました。また、講演会実施・広報にあたり多くの皆様のご協力をいただきました。運営上の不手際などもあり、ご迷惑をおかけした点もあるかと存じます。この場を借りてお詫びいたします。

無事に会を終了しましたことをここにご報告いたします。講演会の報告書は現在作成中（2011年1月下旬予定）です。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

報告：静岡日本語教育センター 佐々木綾



↑ 講演会の様子



↓ 懇親会



↓ グループワーク

